第５章　未来へ



これからの組合

➢　圏域の将来像～結び合って成長する大崎～

「輝く大地ひろがる笑顔の大崎広域圏」

１市４町の持つ豊かな地域資源の輝く大地を活かし、将来に向けた可能性を最大限に追求し、一人ひとりの笑顔が結び合うことによって、大崎広域圏としての広がりが生まれ、地域に暮らす人々の安心と生きがいのある生活を快適に育むことができるものと考えます。

輝く大地とひろがる笑顔の結び合いにより、心豊かな幸せを実感することのできる社会として「大崎広域圏」が実現されます。

➢　共同処理施設の運営

公共施設の整備に関する基本方針としては、施設の老朽化の状態や利用状況を踏まえ、圏域住民との合意形成を図りながら、施設の利活用（統合・廃止か、存続)をしていきます。存続する施設は、予防保全管理による施設の延命化や、事業運営手法の見直しによりコストダウンを行います。また、統合・廃止する施設は、残りの供用期間で過剰な設備投資とならないように、効率的な運営を行います。

さらに、施設の運営に当たり、限られた費用の中で安定的な圏域住民へのサービス提供と効果的な整備を行うため、財政状況を踏まえた費用の平準化のなかで整備を行っていきます。

➢　地球温暖化防止とCO_2排出量削減に向けた取り組み

「持続可能なエネルギーの地産地消」

令和４年４月の完成を目指して建設中の西地区熱回収施設では、ごみを焼却した時に発生する熱エネルギーを回収して、効率的な発電を行い、施設の電力を賄う他、隣接するリサイクルセンターや桜ノ目衛生センターにも電力を送ることで、CO_2排出量を大幅に削減できます。さらに、余った電力は売電することで、経済的にも優れた、持続可能なエネルギーの地産地消を実現します。



西地区熱処理回収施設
完成予想図（令和４年竣工予定）



工事進捗状況（令和３年８月）

➢　効率的な共同処理事務の推進と今後の広域連携

大崎広域ほなみ園では、福祉型児童発達支援センターとしての機能拡大に伴い、医療的ケア児の受入れや相談支援業務など様々な事務が追加されています。

また、少子高齢化による人口減少、都市部への人口流出や核家族化、これらに関係した空き家の増加等が社会問題となっています。

構成市町では定住自立圏協定や地方創生によるまち・ひと・しごと創生に関する様々な取組も行われ、今後も地方創生の新展開の時期に入っていきます。

更に、世界農業遺産に認定された大崎圏域は、その保全と活用の面においても広域連携の必要性は高まっています。

本組合としては、これからも共同処理事務の役割を踏まえながら、構成市町との連携を図り、10年後も20年後も『持続可能な行政目標』を実現し、子どもや孫の世代、そしてその未来まで希望を抱き豊かな暮らしがおくれるよう、効果的で効率的な共同処理事務に努めていきます。



資料編


広報
大崎広域
大崎市・色麻町・加美町・涌谷町・美里町
FIRE
大崎広域消防本部のマスコットキャラクター！
らいすくん誕生!!

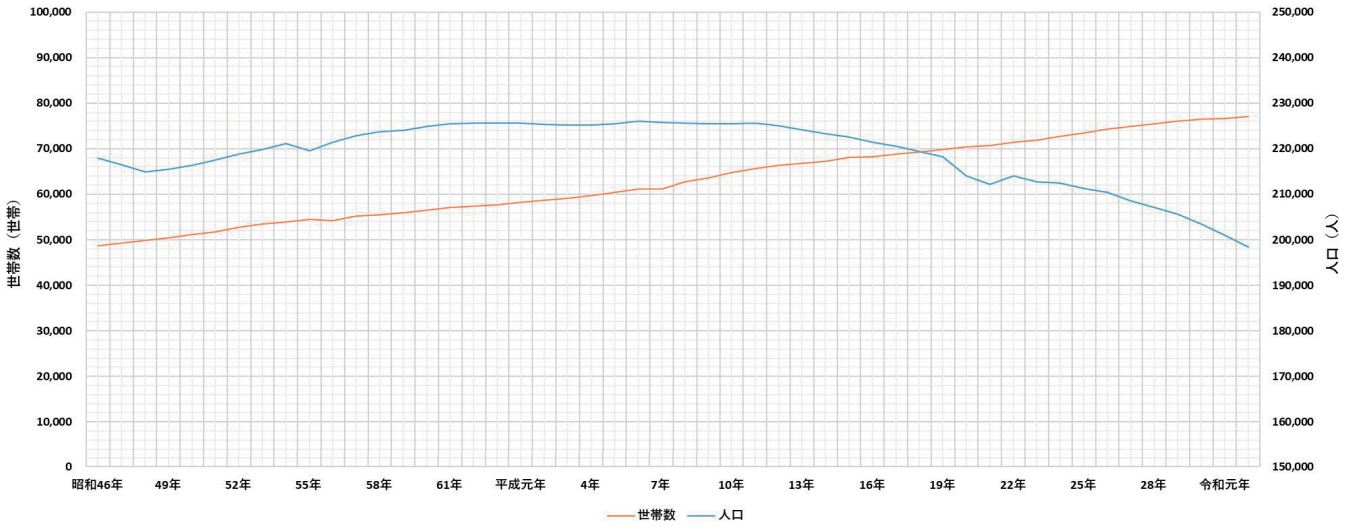
人口･世帯数推移

〔単位：人，世帯〕

年	人口	世帯数
昭和46年	217,880	48,759
47年	216,507	49,280
48年	214,880	49,790
49年	215,464	50,472
50年	216,349	51,115
51年	217,525	51,787
52年	218,880	52,674
53年	219,884	53,462
54年	221,097	53,963
55年	219,603	54,482
56年	221,414	54,252
57年	222,930	55,192
58年	223,686	55,539
59年	223,973	55,925
60年	224,954	56,476
61年	225,434	57,134
62年	225,556	57,348
63年	225,578	57,680
平成元年	225,567	58,185
2年	225,285	58,731
3年	225,114	59,140
4年	225,225	59,733
5年	225,490	60,480
6年	226,104	61,167
7年	225,813	61,167

年	人口	世帯数
平成8年	225,606	62,754
9年	225,424	63,565
10年	225,532	64,795
11年	225,588	65,632
12年	225,054	66,296
13年	224,134	66,736
14年	223,234	67,177
15年	222,594	68,067
16年	221,420	68,268
17年	220,490	68,758
18年	219,422	69,245
19年	218,267	69,890
20年	214,085	70,384
21年	212,187	70,669
22年	213,998	71,447
23年	212,773	71,821
24年	212,509	72,699
25年	211,325	73,480
26年	210,347	74,323
27年	208,511	74,902
28年	207,122	75,485
29年	205,597	76,108
30年	203,483	76,533
令和元年	200,947	76,642
2年	198,379	77,056

人口･世帯数推移



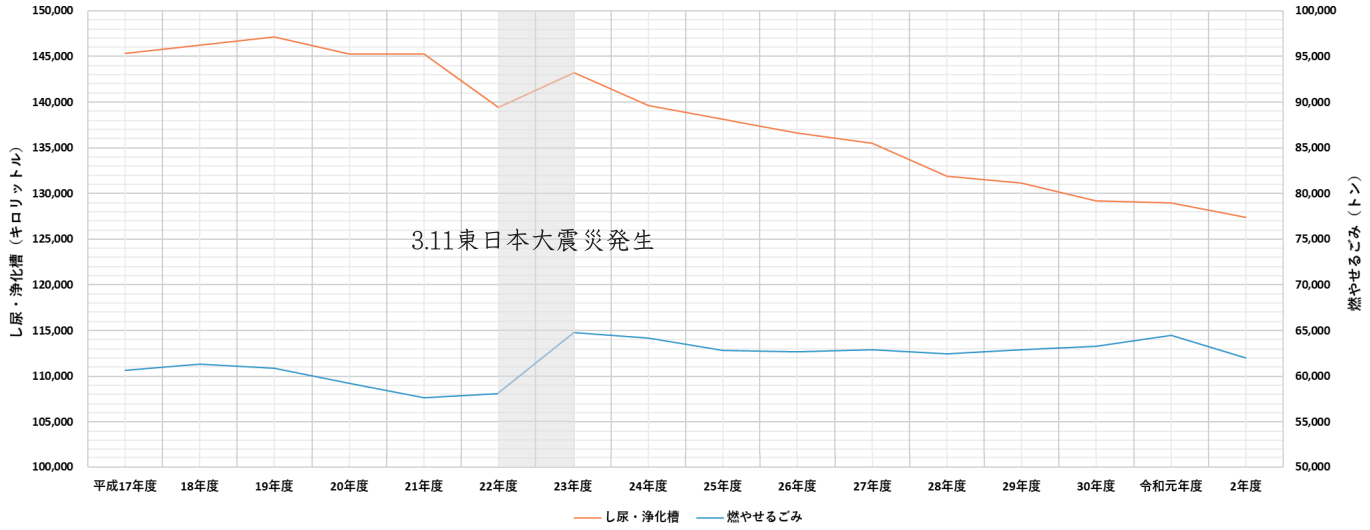
ごみ等処理量推移

〔単位：トン、キロリットル〕

年度	燃やせるごみ	し　尿・浄化槽	備　考
平成17年度	60,654	145,339	
18年度	61,326	146,270	
19年度	60,878	147,139	
20年度	59,254	145,251	
21年度	57,660	145,255	ごみ処理手数料統一
22年度	58,073	139,384	
23年度	64,771	143,226	東日本大震災発生 東部汚泥再生処理センター稼働
24年度	64,152	139,604	
25年度	62,835	138,139	
26年度	62,663	136,644	大日向クリーンパーク稼働
27年度	62,927	135,506	
28年度	62,459	131,922	
29年度	62,896	131,165	
30年度	63,264	129,166	
令和元年度	64,496	129,004	ごみ袋販売価格改定 ごみ処理手数料改定 リサイクルセンター稼働
2年度	61,969	127,401	

※　燃やせるごみはクリーンセンターに搬入された量

ごみ等処理量推移

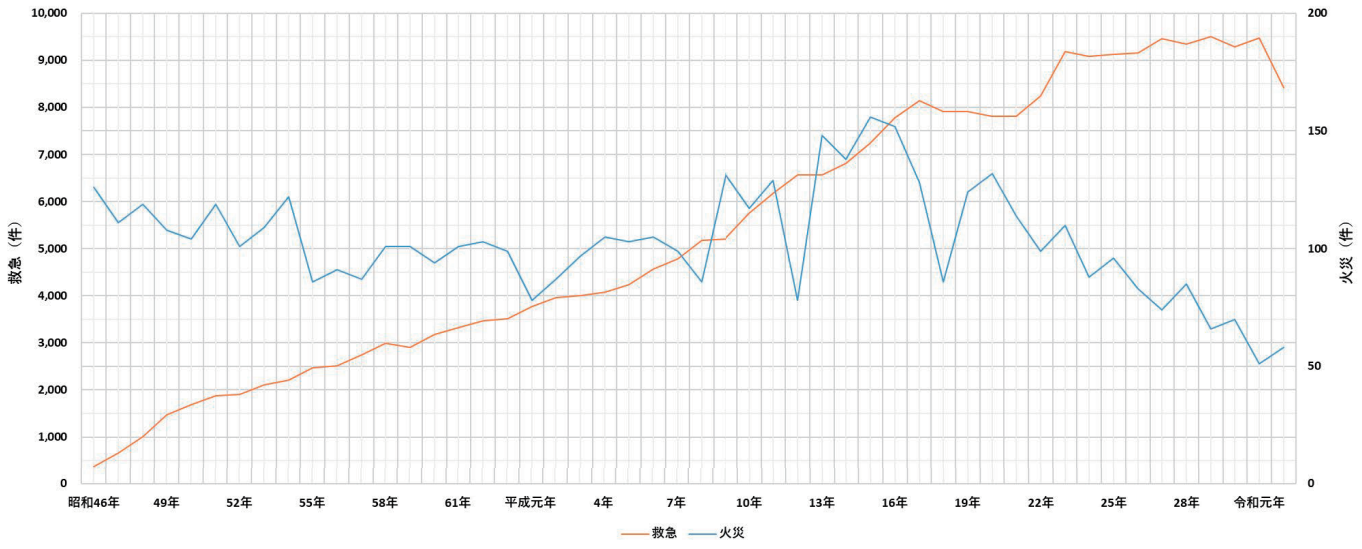


火災·救急件数推移

〔単位：件〕

年	火災件数	救急出動件数	年	火災件数	救急出動件数
昭和46年	126	378	平成8年	86	5,172
47年	111	655	9年	132	5,202
48年	119	1,007	10年	117	5,757
49年	108	1,472	11年	129	6,174
50年	104	1,695	12年	78	6,567
51年	119	1,880	13年	148	6,572
52年	101	1,905	14年	138	6,816
53年	109	2,101	15年	156	7,253
54年	122	2,210	16年	152	7,789
55年	86	2,474	17年	128	8,142
56年	91	2,507	18年	86	7,918
57年	87	2,747	19年	124	7,910
58年	101	2,995	20年	132	7,807
59年	101	2,906	21年	114	7,807
60年	94	3,174	22年	99	8,251
61年	101	3,331	23年	110	9,180
62年	103	3,472	24年	88	9,087
63年	99	3,517	25年	96	9,125
平成元年	78	3,766	26年	83	9,157
2年	87	3,958	27年	74	9,458
3年	97	4,002	28年	85	9,352
4年	105	4,070	29年	66	9,508
5年	103	4,241	30年	70	9,288
6年	105	4,575	令和元年	51	9,470
7年	99	4,784	2年	58	8,422

火災·救急件数推移



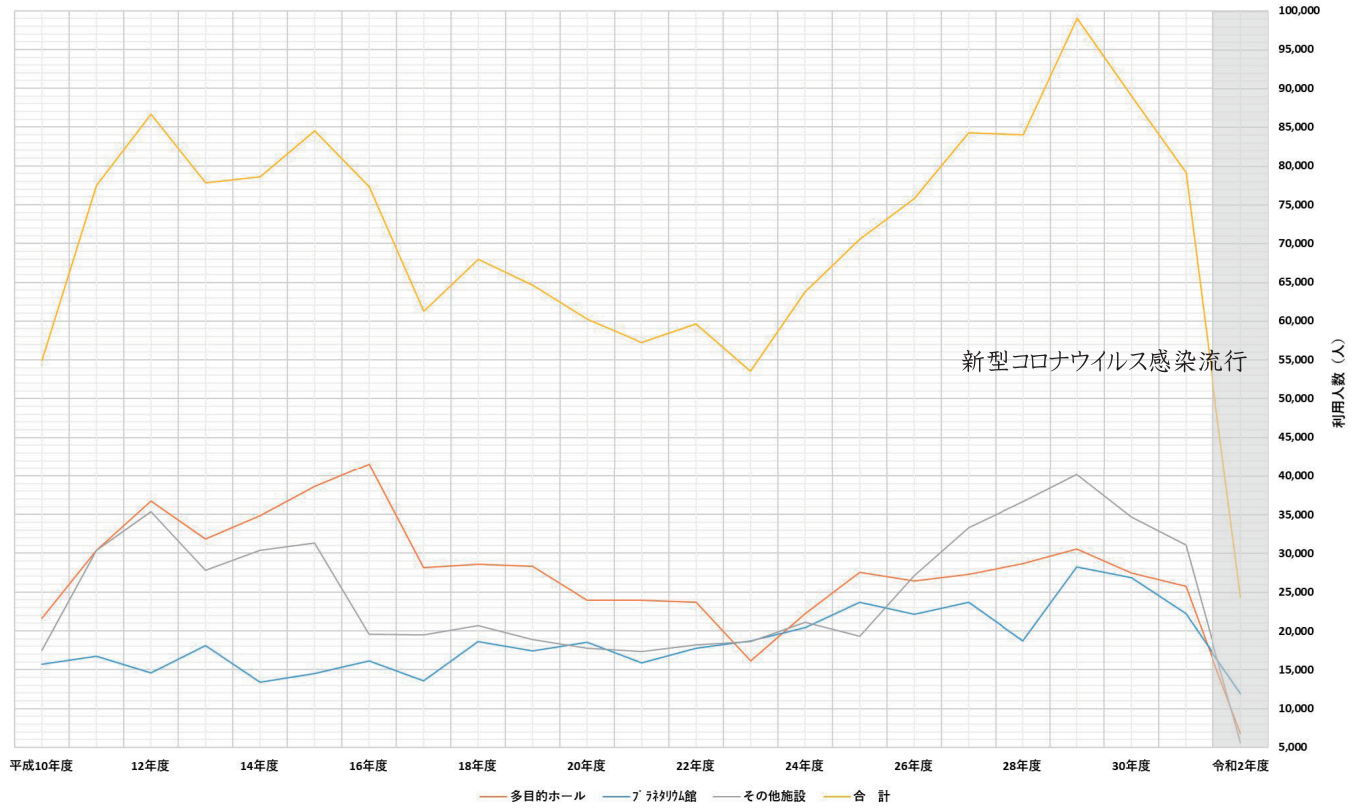
大崎生涯学習センター利用状況

〔単位：人〕

年度	ﾌﾟﾗﾈﾀﾘｳﾑ館	多目的ホール	その他施設	合計
平成10年度	15,739	21,647	17,519	54,905
11年度	16,737	30,417	30,366	77,520
12年度	14,585	36,737	35,363	86,685
13年度	18,144	31,884	27,803	77,831
14年度	13,387	34,872	30,371	78,630
15年度	14,525	38,608	31,350	84,483
16年度	16,185	41,543	19,552	77,280
17年度	13,581	28,164	19,525	61,270
18年度	18,625	28,624	20,697	67,946
19年度	17,444	28,340	18,863	64,647
20年度	18,550	23,952	17,757	60,259
21年度	15,857	23,976	17,363	57,196

年度	ﾌﾟﾗﾈﾀﾘｳﾑ館	多目的ホール	その他施設	合計
平成22年度	17,793	23,669	18,200	59,662
23年度	18,751	16,135	18,639	53,525
24年度	20,425	22,270	21,104	63,799
25年度	23,666	27,573	19,322	70,561
26年度	22,168	26,463	27,149	75,780
27年度	23,696	27,287	33,311	84,294
28年度	18,722	28,685	36,609	84,016
29年度	28,276	30,595	40,135	99,006
30年度	26,852	27,477	34,633	88,962
令和元年度	22,248	25,792	31,060	79,100
2年度	11,975	6,815	5,600	24,390

大崎生涯学習センター利用状況



※令和２年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策で事業の中止や延期、施設の人数制限等で大幅に減ったもの。

ほなみ園　園児数推移

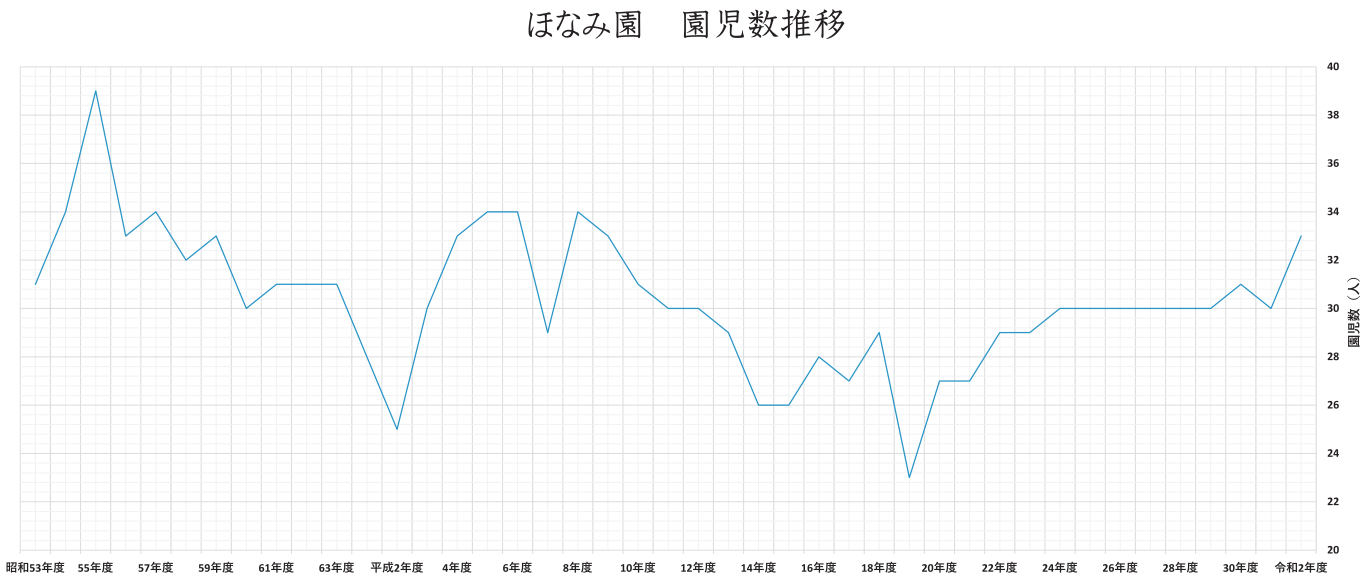
〔単位：人〕

年度	幼児	学童	中卒児	園児数
昭和53年度	18	13		31
54年度	16	18		34
55年度	21	18		39
56年度	23	9	1	33
57年度	28	3	3	34
58年度	28		4	32
59年度	30		3	33
60年度	29		1	30
61年度	31			31
62年度	31			31
63年度	31			31
平成元年度	28			28
2年度	25			25
3年度	30			30
4年度	33			33
5年度	34			34
6年度	34			34
7年度	29			29
8年度	34			34
9年度	33			33
10年度	31			31
11年度	30			30

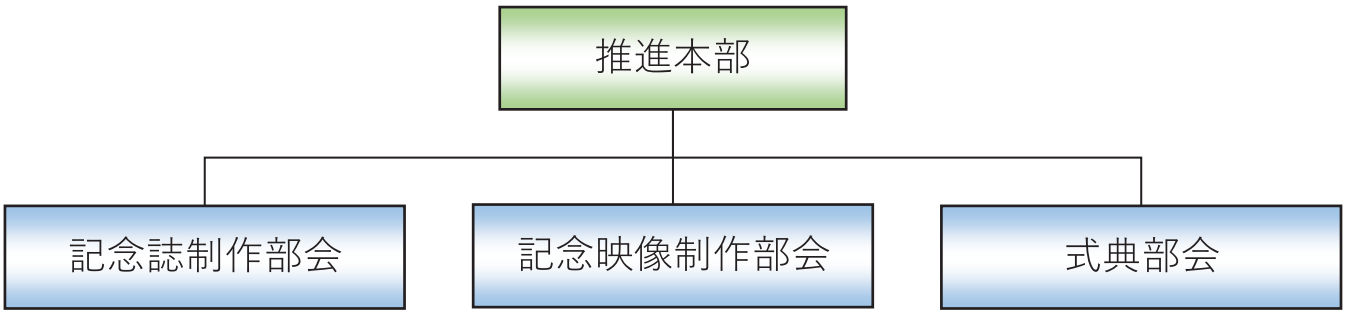
年度	園児数
平成12年度	30
13年度	29
14年度	26
15年度	26
16年度	28
17年度	27
18年度	29
19年度	23
20年度	27
21年度	27
22年度	29
23年度	29
24年度	30
25年度	30
26年度	30
27年度	30
28年度	30
29年度	30
30年度	31（2）
令和元年度	30（4）
2年度	33（5）

（　）は医療的ケア児の人数

※昭和53年度～昭和60年度まで、学童児（支援学校の小中学部に在籍している児童）と中卒児（支援学校の中学部を卒業した18歳未満の方）を受け入れていたが，昭和61年度から幼児のみの受け入れになった。
※平成30年度より医療的ケア児の受け入れを開始する。



組合設立50周年記念事業推進体制



推進本部		
役　職	職　名	氏　名
本部長	副管理者	金森　正彦
副本部長	事務局長兼総務課長	藤島　善光
部員	消防長	小山　年秋
〃	消防次長	櫻井　俊文
〃	参事兼業務課長	柴岡　雄司

記念誌制作部会		
役　職	職　名	氏　名
部会長	消防本部総務課長	板垣　英明
副部会長	施設整備課課長補佐	髙橋　亨爾
部会員	防災課課長補佐	氏家　克広
〃	警防課課長補佐	加藤　一則
〃	議会事務局主査	遠藤　美紀
〃	教育委員会主幹	大里　洋樹
〃	事務局総務課契約管財係長	佐藤　敏明
〃	ほなみ園技術主査	千葉　恭司

記念映像制作部会		
役　職	職　名	氏　名
部会長	教育委員会教育次長	遊佐　徹
副部会長	予防課課長補佐	遠藤　博樹
部会員	教育委員会主査	髙橋　晃紀
〃	業務課課長補佐	宮澤　光紀
〃	事務局総務課人事厚生係長	柳川　利恵
〃	ほなみ園技術主査	佐藤　修子

式典部会		
役　職	職　名	氏　名
部会長	事務局総務課課長補佐	齋藤　儀一
副部会長	消防本部総務課課長補佐	髙橋　直
部会員	議会事務局次長	柳川　敦
〃	教育委員会課長補佐	水上　吉治
〃	施設管理課課長補佐	田中　啓悦
〃	事務局総務課総務企画係長	髙橋　正樹
〃	ほなみ園総務係長	畑岡　敏憲

出　典

（順不同）

➢「大崎タイムス」　・・・株式会社大崎タイムス社

➢「河北新報」　・・・株式会社河北新報社

➢「市町村概要みやぎ」・・・公益財団法人宮城県市町村振興協会ホームページ

賛辞・協賛団体

（順不同）

➢「エコバックなど」　・・・株式会社大崎タイムス社

➢「ＡＥＤ・大型プリンターなど」
・・・三菱・佐藤工業・古川土地特定建設工事共同企業体

➢「軽車両」　・・・株式会社環境開発公社エムシーエム
➢「懸垂幕掲示」　・・・株式会社古川土地



大崎タイムス社寄附受納式



環境開発公社エムシーエム寄附受納式



三菱・佐藤工業・古川土地特定
建設工事共同企業体寄附受納式



株式会社古川土地ビル

編集後記

本誌を制作するにあたり、副管理者を先頭に組合設立50周年記念事業推進体制を組織し、その下に「記念誌制作部会」「記念映像制作部会」「式典部会」の３つの部会を立上げ、各部局から部会員を選出し、組合50周年記念事業を組合全庁を挙げて取組み推進してまいりました。

各部会では「職員の手作りによる記念事業」とするコンセプトを基に、関係機関や図書館・新聞社などからご協力をいただき写真や資料などの収集、先輩諸氏からの情報提供、関係各位からの寄稿を頂戴しながら、それぞれ業務の傍らで編纂し発刊にこぎ着けることができました。

記念誌の中で特集した「組合OB座談会」では、組合各部局を退職された諸先輩から５名の代表者にお越しいただき、和気のなかで座談会を開催できた事を大変ありがたく感じております。

先輩方の経験した様々な出来事や苦労話など、多岐にわたる話を昭和・平成の各時代ごとに大別して聞かせていただき、歴史の一部をかいま見ることができました。

故（ふる）きを温（たず）ねて新しきを知る「温故知新」になぞらえて、我々後輩職員も、これまでの先輩方が築き上げた歴史や思いを知り、これからの新たな時代を見据えながら「大崎広域」を紡（つむ）いでいきたいと思います。

また，本来であれば９月20日に記念式典を挙行する予定でありましたが、全国的な新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、８月27日から宮城県を含む全国21都道府県に「緊急事態宣言」が、他12県に「まん延防止等重点措置」が発令されたことから、実施方法を変更して情報発信することとなりました。

なお、誌面の中で不手際などがあった場合は、手作りの誌面に免じましてご容赦くださいますようお願い申し上げます。

最後に、本誌の制作に際し多大なご協力を賜り、また携わっていただいた多数の皆様に深く感謝申し上げます。

令和３年９月20日
大崎地域広域行政事務組合
「組合設立50周年記念事業・記念誌制作部会」
部会長　板垣　英明

50周年記念誌

発行日：令和３（2021）年９月20日
発行者：大崎地域広域行政事務組合
〒989-6174
宮城県大崎市古川千手寺町二丁目５番20号
編　集：大崎地域広域行政事務組合
「組合設立50周年記念事業・記念誌制作部会」

大崎地域広域行政事務組合設立



周年

SINCE 1971

輝く大地 ひろがる笑顔の 大崎広域圏